

平成 30 年 11 月 13 日

農林水産省 平成 30 年度 鳥獣被害対策基盤支援事業

地域リーダー育成研修のご案内（開催地：京都府京都市）

主催：株式会社 農文協プロダクション

■開催主旨

野生鳥獣による被害は農作物のみならず、営農意欲の減退や耕作放棄の要因ともなっており、鳥獣被害対策の中心的役割を担う人材が求められています。本研修では農家主体・地域主体の鳥獣被害対策を推進する「地域リーダー」を育成することを目的とします。

研修会参加者が行政や営農指導の現場で計画作成し支援をする際に必要となる鳥獣被害対策の基本的な考え方や知識を身につけ、被害対策技術や研究開発の現状を把握できるような内容とします。また、鳥獣被害対策に取り組む実践者や研究者等の講義を実施し、地域性を取り入れることで、被害防止対策の充実を目指します。

■受講対象者（定員 30～50 名）

・都道府県を担当範囲とした鳥獣被害対策のご担当者、支援に携わる方

（都道府県の鳥獣害担当部署 管理職の方、担当者、普及員、JA 管理職の方等を想定しています）

■開催日

平成 30 年 11 月 29 日（木） 10：30～16：00（※受付 10:00～）

■開催場所 第 8 長谷ビル 8 階 B 室

〒600-8413 京都府京都市下京区烏丸通仏光寺下ル大政所町 680-1

■研修内容

- 10：30～12：00 講師 **鈴木克哉氏**（NPO 法人 里地里山問題研究所）
「鳥獣被害対策を効果的に進めるための行政の役割（仮）」
（計画作成・支援のための基本的な考え方 等）
- 13：00～14：00 講師 **荒堀正生氏**（京都府丹後広域振興局）
「丹後広域振興局エリアにおける
鳥獣被害対策の活動状況について（仮）」
（優良事例の紹介）
- 14：00～15：30 講師 **古谷益朗氏**（埼玉県農業技術研究センター）
「アライグマ・ハクビシン等の中型獣から農作物を
守るための知識と進め方」
（鳥獣の行動・生態と効果的な対策手法 等）
- 15：30～16：00 質疑応答
- 16：00 終了

※講演題目ならびに講演順序等は、変更する可能性があります

■講師紹介

鈴木克哉（すずき・かつや）

NPO 法人 里地里山問題研究所 代表理事

専門分野：集落支援プログラム、都市人材を活用した獣害対策推進及び地域活性化

農作物野生鳥獣被害対策アドバイザー

荒堀正生（あらほり・まさお）

京都府丹後広域振興局 農林商工部 企画調整室 地域戦略担当

古谷益朗（ふるや・ますお）

埼玉県農業技術研究センター

専門分野：対策全般、ハクビシン、アライグマ

著書『ハクビシン・アライグマ おもしろ生態とかしこい防ぎ方』（農文協）

■受講料

無料（会場までの旅費交通費、駐車場料金等は各自ご負担ください）

※当日の配付資料は、参加者のみとなります。郵送など是对応できませんのでご了承ください。

■ **持ち物** 筆記用具、名刺（名札として使用します）

■ **申し込み方法**

下記の項目を e-mail または別紙「参加申込み書」に必要事項を記入してお送りください。

メールの場合は必ず件名を「京都府研修会申し込み」と記載ください。

- 1) 氏名（ふりがな）
- 2) 所属
- 3) 住所
- 4) 電話番号
- 5) FAX 番号
- 6) e-mail アドレス
- 7) 参加当日の交通手段
- 8) 地域的に課題となっている鳥獣被害はなんですか？
- 9) 鳥獣被害対策をすすめるにあたって、どのような課題がございますか？
- 10) その他お問い合わせなど

申し込みの締め切りは 11 月 26 日(月)とさせていただきます。

■ **申し込み・お問い合わせ**

研修会事務局：株式会社農文協プロダクション

担当：吉元（よしもと）・尾形（おがた）・菅野（かんの）

e-mail：chojugai@sinseisaku.co.jp

TEL：03-3584-0416 FAX：03-3584-0485

住所：107-0052 東京都港区赤坂 7-5-17

事務局 株式会社 農文協プロダクション (吉元・尾形・菅野) 行き

FAX : 03-3584-0485

農林水産省 平成30年度 鳥獣被害対策基盤支援事業
「地域リーダー育成研修 (開催地: 京都府京都市)」

参加申込書

下記にご記入のうえ、11月26日(月)までに事務局まで
FAX または郵送でお申し込みください

ふりがな			
氏名			
所属			
住所	〒		
TEL		FAX	
E-mail			

事前質問にお答えください。研修会の参考にいたします。

地域的に問題となっている鳥獣被害はなんですか (該当するものに○をつけてください)

サル イノシシ シカ アライグマ ハクビシン タヌキ
アナグマ カラス その他 ()

鳥獣被害対策をすすめるにあたって、どのような課題がございますか

通信欄